



第79回

## 私のスケッチブック

### 「カイゼルスベルグの門？」

カイゼルスベルグ／アルザス（フランス）



この村には過去二度訪れています。最初に訪れた時は、コルマールからこの地を訪れるのに四苦八苦した思い出。二度目に訪れた時は、描く対象を求めての旅でした。

葡萄畑の丘に古い13世紀の古城が残っていますが、登る余裕すら無かったのですから今に思えば残念無念となります。題名に“?”マークが付いています。多くのスケッチを描きましたからカイゼルスベルグの門を描いたとの記憶が明確ではないのです。

この門が、何ともヤンチャ坊主の顔に観えるのです。眼元、鼻元、口元そして輪郭も人の顔立ちに観えて来ます。そして、屋根が帽子に観えて…その上に「コウノトリの巣」ですからカイゼルスベルグの門と思っています。

この村にシュバイツァー博士の生家があり、アフリカでの人道活動に貢献し、ノーベル平和賞を授与され、今は博物館として公開されています。コルマールから

バスで訪ねる方々もいらっしやいますが、語学に堪能な方なら大丈夫でしょうが…やはり現地ガイドの付いたツアーがお奨めです。コルマールの観光案内所でも予約は出来ますし、意外に融通の利く旅を提供してくれます。

アルザス地方は、ドイツとフランスの国境を接する地域ですから複雑に文化が混じり合い、そして常に戦いの場となり悲劇が繰り返されます。親子が敵味方に分かれて銃口を向け合い、兄弟親戚が白兵戦で戦うのですから無茶苦茶な話。第二次大戦でもこの村は、筆舌絶後の破壊に晒されます。

この村は交通の要路として公益で栄え、ワインの取引で栄え、同盟都市として繁栄しますが、何とも物静かな雰囲気か漂っています。ある種派手さのない落ち着いた街並みに独特の趣があります。

川を渡って…幸せを運ぶコウノトリを確認してから次の村に向かいます。

延原 慎吾



1946年、岡山県生まれ。現在、東京都内在住。物流会社を経営するかたわら欧州物流コンサルタントとして渡欧の際、歴史的建造物及び風景の美しさに魅せられて水彩画を始める。  
2017年開催「第68回 全国カレンダー展」に9度目の入選を果たし、その実力を発揮する。  
<http://www.urban.ne.jp/home/nobu36>

水彩画 延原

検索